

家庭数

保護者様

市川市立宮田小学校  
校長 本多 妃佐子

## 令和元年度（7月）

## 学校評価保護者アンケートの結果について

初秋の候、日頃より保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。  
さて、7月に皆様にご依頼した学校評価保護者アンケートの集計及び考察が終わりましたので、報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。

なお、いただきましたご意見を参考に、今後の学校運営に努力を傾けてまいりたいと存じますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。

## 令和元年度 学校評価・保護者アンケート集計結果（前期）

在籍数 407人、 回収人数 377人 回収率 92.6%

（項目によっては無回答がありますので、合計が100%にならないことがあります。）

			4	3	2	1	
			そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	
確 かな 学 力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	30年度	92.9%	6.3%		
			元年度	92.8%	6.1%		
	本校の児童は知的好奇心が高く、教授型の授業になっていると、授業に満足感が得られず興味・関心が低下する傾向があります。 <u>1時間の学習課題</u> を一人一人の児童が共有して、「 <u>わかる喜び</u> 」「 <u>できる喜び</u> 」を体感させます。そのために、視覚に訴える資料や具体物を用意し、操作したり、体験したりすることによって <u>自分で思考する習慣をつけます</u> 。地域の人材や施設を活用し、 <u>自然体験活動や社会体験活動を豊かに取り入れて</u> 、学ぶ楽しさを味わい、次への意欲を持てるような学習を目指します。						
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	30年度	67.5%	32.5%		
元年度			68.4%	31.3%			
評価は前年度よりわずかに上昇していますが、数値は低い現状です。わからない語句を辞書で調べたり、お気に入りの動植物等に没頭したりする姿が減少しています。わからないことに出会った時に「どうして？」と新鮮に感じることにより、「知りたい」「わかりたい」という意欲へつながります。「知っている。」「もう、習った。」と学習にブレーキをかけるのではなく、 <u>自分の言葉で、自分のやり方で、仲間と話し合いながら解決する学習</u> の仕方を指導したいと考えます。そして、 <u>身に付いた力を自分や他の人のために生かせる喜びを感じながら</u> 、更に学びたいという意欲を持って取り組むような児童の育成を目指します。							

豊かな心	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	30年度	80.6%	19.4%	
			元年度	82.8%	16.7%	
	<p>10分×(学年)を目安に、家庭学習を指導してきました。学校で習ったことを復習する、次の日の学習を予習する、興味のあることを深める等、<u>それぞれの児童に合った家庭学習が必要</u>です。保育クラブや習い事など各家庭での事情を考慮した上で、どんな学習をどのように、どれくらい行うかということをも<b>具体的に示し、やれることから始めることが第一歩</b>です。学校でも、<u>よいノート例や取組を取り上げ、習慣化</u>していけるように励ましています。</p>					
	4	お子さんは、日常的に読書活動や図書等を活用した学習(学校や他の図書館の活用など)をしている。	30年度	66.8%	32.7%	
			元年度	67.1%	32.6%	
	<p>読書は、文章や資料を読み取り、知識を広げ、考える力を養います。「確かな学力」「落ち着いた学習環境」のために重要ですが、何よりも「<u>心の栄養</u>」になります。自分以外の人にも心があり、傷ついたり喜んだりすることがわかり、<u>自己中心性からの脱却</u>を促します。古今東西、人はいつの時代も悩み迷いながら成長していくことを教えてくれ、<u>子どもたちにとって大きなエール</u>になります。学校では、引き続き給食の配膳時や課題が早く終わったときなどの<u>隙間時間に読書を進めて</u>まいります。</p>					
	1	お子さんは、友達や近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	30年度	83.3%	16.6%	
			元年度	87.5%	12.2%	
	<p>朝の登校時に、子どもたちのあいさつの声が大きくなったと、地域の方から褒めていただきました。あ：明るく い：いつも さ：さきに つ：つづけての4つができています。たいへんすばらしいのは、<u>会釈をしながら挨拶</u>ができることです。「おはようございます」「さようなら」は1学期に目標が達成できたように思います。<u>2学期は「ありがとうございます」(感謝)、3学期は「ごめんなさい」「すみません」(自省)</u>を目標に、場に応じたあいさつができるような児童を育成しますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。</p>					
	2	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	30年度	86.6%	13.4%	
元年度			86.2%	13.5%		
<p>学校生活の中で、係の仕事や当番活動・委員会活動・縦割り活動など<u>積極的に行う児童が多い</u>です。<u>リーダーシップ</u>も取れますし、<u>フォロワーシップも備わって</u>います。しかし、児童は自分に対して「役割・責任感」の自己評価が低いように思います。「家庭で勉強時間を守らなかった」「決められた日課を守れなかった」意志の弱さを評価しているようです。普段の給食当番や日直の仕事、当たり前なことを当たり前に行うことは、もっと評価してよいのです。<u>自分が他の人のために役に立つ存在であること、人から頼りにされることは、自分の存在価値を高めます。</u>よくできている子どもを取り上げ、認め褒めることで学校全体に広がっていきます。</p>						
3	お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	30年度	92.4%	7.5%		
		元年度	93.1%	6.4%		
<p>子どもですから、ほんの少しからかたりふざけたりしたつもりが、相手を傷つけてしまうことがあります。どのように人に接したり声をかけたりすれば、より良い人間関係を構築できるかということをも毎日学習しています。まずかたと反省したなら、謝ることも大切です。<u>人に優しくされたことのある子は、他の人にも優しくできます。</u>周囲の大人が意図的に、<u>良いこと・頑張ったことを認め、そして褒め、価値基準を明確にしていくことが大切</u>だと思います。人に優しくすると、一番気持ちがいいのは相手ではありません。自分なのだということを体感させたいです。</p>						

健やかな体	1	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。	30年度	80.6%	19.3%
			元年度	83.6%	16.2%
	<p>駅周辺で立地条件等の関係もあり、遊ぶ場所も少ないという現状ですが、学校では「<u>一日一回、外遊び</u>」を合言葉に体を動かそうと意識化してきました。休み時間には友達を誘って、元気に外遊びする姿が見られました。成長期の児童にとって健やかな体の育成には、<u>運動、生活習慣、食事、睡眠は重要</u>です。意図的・計画的に健やかな体を維持するための活動を指導し、理解と実践を定着させます。体育科においても準備運動に「<u>宮田小サーキット</u>」を取り入れ、体力が向上するよう指導の工夫にも努めています。</p>				
	2	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気を付けて生活している。	30年度	93.4%	6.5%
元年度			89.1%	10.6%	
<p>生活安全面では、決まりを守らない廊下歩行、ボールによる指のけが、振り回したものが友だちに当たってしまうなどが見られたので、<u>集団生活での注意点</u>や<u>ボール遊び前の準備運動</u>を励行します。災害安全については、<u>風水害や不審者対応訓練など新しい課題にも対応</u>した様々な訓練を実施してきました。訓練が形骸化しないよう、見直しと改善を図ります。交通安全については、大きな交通事故はありませんでしたが、<u>狭い道で広がっての歩行</u>や、<u>公道上での遊び</u>も報告されていますので、繰り返しシミュレートを通して、危機意識を育てる必要があります。</p>					
3	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。	30年度	83.8%	15.8%	
		元年度	87.0%	12.5%	
<p>一部の子どもに、朝起きられない、忘れ物が改善されない、宿題や家庭学習の習慣が身に付いていない、食生活で好き嫌いがある、ゲームやテレビ視聴が多いなどの課題がみられました。保護者と担任が連絡を取り合い、できなかったことを責めるのではなく、温かい励ましの目で、<u>具体的でやってみたくなるアドバイスと適切な評価を重ねていきたい</u>と考えます。</p>					
信頼される学校	1	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるように努めている。 (前年度：学校は、たより等で学校の様子を十分に保護者に伝えている。)	30年度	91.8%	8%
			元年度	91.2%	8.2%
	<p><u>ホームページが一新</u>されました。随時、情報提供をし、学校生活についてご理解いただけるように努めてまいります。今後も学校だより・学年だより・給食だより・保健だより・図書だよりの紙面にも学校生活の情報提供をしていくとともに、<u>保護者の皆様と双方向の情報交換</u>が行えるようにも努めてまいります。</p>				
	2	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。 (前年度：学校は、保護者や地域の方が、学校行事等に参加しやすいように努めている。)	30年度	94.2%	5.8%
元年度			95.2%	4.0%	
<p>市川南、新田の学区では、以前より地域住民の皆様にも、子どもたちを「地域の宝」として、愛情を持って守り育てていただいています。<u>宮田小同窓会・自治会・子ども会・商店会・民生児童委員会・大洲中ブロックコミュニティークラブ (BCC)</u> などとともに、子どもを育てる取組をしています。「宮田小こども教室」も利用者が増加し、成果を上げています。今後「<u>青色防犯パトロール隊</u>」を設置して、学校と地域の防犯、事故防止に努めていきます。</p>					

3	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	30年度	93.4%	5.8%
		元年度	91.0%	8.5%
<p>本校は、定期的な保護者面談のほかに、随時教育相談を受け付けております。また、「いじめ相談窓口」を保健室で、毎週木曜日に設けています。気がかりなことがございましたら、担任以外でも、養護教諭・ゆとりぎ相談員・校長・教頭などとの面談が可能です。不安なことや心配なこと、わからないことなどがありましたら、お話しいただき、一緒に解決に向けて対応してまいります。</p>				
4	学校は、特色ある取組や教育を進めている。 (今年度新規項目)	30年度	—	—
		元年度	83.3%	16.2%
<p>本校の教育目標「みんなで創ろう 楽しい学校」を具現化するために、<b>特別活動を中心として、筋道立てて話す力、聞く力、話し合いによって解決に導く力の育成</b>に取り組んでいます。自治的・自発的な活動で、係活動、当番活動、委員会活動、クラブ活動を活性化させ、学校生活を楽しく豊かにしています。また、<b>「縦割り活動」や「朝スポーツ」などにより、下学年の面倒を上学年が行います。</b></p> <p>令和元年度より二年間、文部科学省から「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」の委託を受け、推進してまいります。</p>				
5	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。(今年度新規項目)	30年度	—	—
		元年度	87.0%	12.2%
<p>一人一人の児童を見つめ、<b>小さなサイン</b>を見逃すことなく対応を心掛けています。学期ごとに<b>「生活アンケート」</b>を実施し、事件や事故の未然防止に努めます。子ども達にとって学校は、<b>「安心できる場所」「生き生きと学べる場所」「自己の成長を感じる場所」</b>であるよう、努めてまいります。</p>				

学校評価・保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。第2回目の保護者アンケートは12月に実施いたしますので、再度、ご協力をお願いいたします。